事業者ID teitansoOAO376

低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2020年 9月 17日

(提出先) 横浜市長

福岡県福岡市中央区荒戸1-1-6 住所

自然電力株式会社

代表取締役 磯野 謙

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名) 横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び 実施の状況を報告します。

1 特定電気事業者の概要

事業者の	名称及び	自然電力株式会社
代表者の		代表取締役 磯野 謙
主たる事業所の 所在地		福岡県福岡市中央区荒戸1-1-6
発電事業	で有無	有
供給区	区分	□ 特別高圧 □ 高圧 ☑ 低圧(電力) ☑ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業実施の 場合は、発電事業 の概要も記載)		自然電力グループは、「エネルギーから世界を変える」という企業理念のもと、太陽光・風力等、自然エネルギー発電所の設置から電力小売まで ワンストップサービスの提供をしており、持続可能な社会の構築に向け活動する企業・団体のニーズにお応えします。自然電力株式会社にて、太陽光・風力・小水力等の自然エネルギー発電所の発電事業(IPP)、事業開発・資金調達、アセットマネジメント、個人・法人向け電力小売事業等を行っております。
	事業所名	東京オフィス
担当部署 連絡先	部署名	エナジーデザイン部
	電話番号	03-3868-3391
	E-mail	se_retail_operation@shizenenergy.net

対象年度

提出年度 2020 年度 (当年度)

3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

■電力調達に係る取り組み方針
電力のでんき」において、再生可能エネルギー(FIT含む)や廃棄物発電からの調達を積極
的に考えております。また非化石証書(再エネ指定)をはじめとする環境価値を購入することにより、低い
「CO2 排出係数(調整後)」の電気にする予定です。
■その他の温暖化対策に係る取組方針
・事業所・ご家庭を含めた「需要家」の皆様に対し、引き続き「自然エネルギー由来のでんき」の提供を図ってまいります。

- ・IT技術を利活用した高度なエネルギー管理の検討により、自然エネルギー利用の選択肢を増やすことを目指し ます。
 ・その他、自然エネルギー普及にかかる活動や情報発信を積極的に行ってまいります。

4 推進体制

■発電事業等に付	系る	推進	体制
----------	----	----	----

- ■光電サ来寺には31世時間 自然電力グループ全体で、 1.発電所をつくる: (1)企画・開発・資金調達→(2)設計→(3)機器調達→(4)建設 2.発電所を運営・管理する:運営・保守・アセットマネジメント 上記の「自然エネルギー発電所の設置に必要なすべてのサービス」を提供する体制を敷くことにより、 自然エネルギーの普及を推進してまいります。

■その他の温暖化対策に係る推進体制 弊社では「未来創造室」を設置しています。 この「未来創造室」では、IT技術を利活用した高度なエネルギー管理の方途について、調査・研究・開発を行っ ています。

5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	有	無
<u> </u>	窓口で閲覧 閲覧場所:自然電力株式会社東京オフィス 所在地:東京都文京区本郷4-9-22 3F 閲覧可能時間:平日 9:00~18:00(年末年始除く)	

6 電源構成の公表状況

公表の有無	有	○ 無
公表方法	窓口で閲覧 閲覧場所:自然電力株式会社東京オフィス 所在地:東京都文京区本郷4-9-22 3F 閲覧可能時間:平日 9:00~18:00 (年末年始除く)	

7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

- ・環境経営/企業活動、国際イニシアティブ「RE100」に関するCO2削減に興味・関心のある都内事業者様へのコンサルティングを行っています。 ・電力小売事業「自然電力のでんき」のお客様用webマイページにて、「日々の使用電力量、および電源構成を見える化」し、情報提供をしています。 ・「自然電力のでんき」WEBサイトのプログ記事にて、自然エネルギーの普及に関する情報発信を継続的に行っています。

- ています。 ・各種講演・セミナー・イベントなどで、自然エネルギー100%の社会実現に向けた啓もう活動を行っております。

	対応の可否	● 対応可	○ 一部対応可	○ 対応不可
RE 1 0 0 に 対応した 電気の供給	備考			

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

8 1	電気の供給に伴い排出				巨畑日福
		前々年度	前年度	当年度	長期目標
	排出係数種別	2018年度 実績値	2019年度 実績値	2020 年度 計画値	2030年度 計画値
	V. 1-1711-291-1244	美 稹៕ [kg-CO₂/kWh]	実 續個 [kg-CO₂/kWh]	計画但 [kg-CO2/kWh]	計画1 <u>組</u> [kg-CO2/kWh]
	基礎排出係数	0. 519	0. 501	0. 400	0. 000
	把握率(%)	94. 52	99. 62	_	_
調整後排出係数		0. 159	0. 251	0. 200	0.000
					_
					_
					_
メニュ					_
別排					_
出係数					_
					_
					_
					_
					_
1.	々年度の排出係数 こ対する前年度の 出係数の増減理由	C02排出量を削減	する環境価値の購	入割合が、結果として減少	したため。
排出係数の抑制措置 のための取組		ける卸取引市場の すことで、改善を ・長期的には、自	D比率を減らし、1 P図ってまいりま ⁻ B然エネルギー発1	当年度、および次年度の方針 代わりとして、よりCO2排出す。 電所の設置を推し進め、主た 数(基礎)Okg/kWhを目指し	量の低い電源の比率を増や - る電源をこの自然エネル

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

			-
	前々年度	前年度	当年度
排出区域	2018年度	2019年度	2020年度
	実績値 [t-CO ₂]	実績値 [t-CO ₂]	計画値 [t-CO2]
全国総量	554	5051	40000
市内	11	266	1500

(A4)

10 電気の調達実績

	前々名	丰度	前年度		
調達実績	2018 4	丰度	2019年度		
WALLYON	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]	
調達電力量(総量)	3484		20122	_	
再生可能エネルギー (FIT電気除く)	0	0.00	0	0.00	
太陽光	0	0.00	0	0.00	
風力	0	0.00	0	0.00	
水力	0	0.00	0	0.00	
その他					
	0	0.00	0	0.00	
再生可能エネルギー (FIT電気)	880	25. 26	3250	16. 15	
太陽光	880	25. 26	1799	8.94	
風力	0	0.00	1205	5. 99	
水力	0	0.00	246	1. 22	
その他 ()	0	0.00	0	0.00	
未利用エネルギー	0	0.00	0	0.00	

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

	前々年度	前年度	
項目	2018年度	2019年度	
	実績値 [t-CO₂]	実績値 [t-CO ₂]	
削減相当量	1890	6281	

認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の
認

その他の任民妻電気の並及の促進に係る世署

	その他の低灰素電気の背及の促進に係る措直
特	にございません。
ı	
ı	
ı	
1	
ı	
ı	
ı	

[・]当年度・次年度におきましては、風力・小水力等を含め、引き続き自然電力グループ設置の自然エネルギー発電所 (FIT)からの電力供給比率を増やしてまいります。 ・長期的には、バイオマス等を含めたより多様な自然エネルギー発電所からの調達、およびIT技術の利活用 (例:蓄電池技術を利活用した「太陽光エネルギー電気の夜間利用」など)を手段として、利用率100%を目指します。